

# 都立競技施設における アクセシビリティ・ワークショップ（第1回）

## 主な意見

日時 平成28年3月24日（木）

14:00～17:15

会場 都庁第一本庁舎25階115会議室

### 1 議事

#### ○ 基本設計の概要等について

- ・「有明アリーナ」についての説明及び意見交換
- ・「オリンピックアクアティクスセンター」についての説明及び意見交換
- ・「海の森水上競技場」についての説明及び意見交換

### 2 説明内容に対する主な意見

#### 【3施設共通】

- ・精神障害者は、急に体調が悪くなり、横になりたいという希望があると思うので、救護室のような場所を各階に設置してほしい。
- ・車いす使用者席の分散配置は、他の客が様々な場所で観戦できるのであれば、障害のある方も同様であるべきという考え方である。いかにして実現するかという方向で、まずは考えていただきたい。
- ・車いす使用者の同伴者席は、固定よりも可動にして、車椅子2台に同伴者1名とか、様々な対応ができるようにすべき。
- ・トイレについては、多目的トイレのみに機能を集中せず、狭くても機能別のものを分散してほしい。
- ・聴覚障害者にとっては、大型スクリーンは重要な情報源になるため、様々な方向から見えるような配置にしてほしい。
- ・コンクリートの柱については、視覚障害者がけがをする可能性があるため、

斜めの柱は避けたほうが良い。構造上必要な場合には、近づけないような配慮が必要。

#### 【「有明アリーナ」についての意見】

- ・透明なガラスについては障害の有無に関わらず衝突するケースが多々あるため、後からシールを貼る等ではなく設計から配慮が必要。

#### 【「アクアティクスセンター」についての意見】

- ・プールでは、音が反響して、視覚障害者が方向をとれなくなったり、難聴の方が聞きづらいということがある。磁気ループ席の割合を増やしたり、受付で補聴器を貸し出すなど、音に関する配慮を検討してほしい。
- ・屋内のプールは、弱視の人にはまぶしいため、採光の際まぶしくないようにする等配慮が必要。
- ・後利用の一般開放の際、更衣室は、親子・家族で使用できるものも必要。

#### 【「海の森水上競技場」についての意見】

- ・屋外で水がある施設だと大変まぶしいと思なので、配慮してほしい。
- ・風などで音が聞き取れない時のために、何かの方法で音を直接聞けるような方法の設備を入れてほしい。
- ・グラウンドスタンド棟は車いす使用者がエレベーターを使わずにトイレに行けるようにしてほしい。
- ・簡易型多機能トイレは、男女兼用があればありがたい。
- ・グラウンドスタンド棟は、2,000席の観客を収容するには、メインエントランスの通路幅が2mというのは狭い。

#### ○ 今後の実施設計に対する要望等

##### (3施設共通)

- ・聴覚障害者のために、マークなどを用いて見てわかりやすい案内版を各階に作ってほしい。
- ・エレベーターについて、万が一、地震等で聴覚障害者が閉じ込められた場合、

- インターフォンで連絡ができないので、外と連絡を取れるようにしてほしい。
- 磁気ループの設置場所について、聴覚障害者の場合は視覚的情報も必要なので、大型スクリーンが見やすい場所への配置が必要である。また、会場のどの場所に磁気ループが敷設されているかマーク等でわかるようにすべき。
  - 階段の傾斜が急で怖く感じる場所も実際にあるので、配慮してほしい。
  - 階段の段鼻は、視認性が確保できるようコントラストをつけた色彩としてほしい。
  - 床の色について、ロービジョンの人たちが壁や柱と区別ができるよう配慮が必要。
  - 観客席について、視覚障害者がどの位置に座席があるか分かりやすいようデザイン等で工夫すべき。また、席番号も併せて見やすくするべき。点字で席の番号を手すりや背もたれに表示すればコストもかからず良い。
  - 災害の時、障害のある人に情報提供をして、避難誘導ができる方法を考えておくことが必要。例えば、トイレの個室にいる時でも分かるように。